

電気通信普及財団レポート2025



CONTENTS

電気通信普及財団レポート 2025

1.	1. 理事長からのご挨拶	1
2.	2. 助成・援助活動	2
	2-1 研究調査助成	2
	(1) 研究調査助成 (通常枠)	2
	(2) 電気通信普及財団創立40周年記念事業 研究調査助成特別枠	5
	(3) 研究調査助成過年度(2022年度、2023年度)採択案件	10
	2-2 海外研究·特別講義開設援助 ····································	13
	(1) 特別講義開設援助	13
	(2) 長期海外研究援助	13
	(3) 海外渡航旅費援助	14
	2-3 普及・利用促進活動助成援助	15
	(1) シンポジウム・セミナー等開催援助	
	(2) 学術研究出版助成	17
	(3) 国際交流人材育成援助	
	(4) ネット社会課題対応援助	19
3.	3. 表彰事業	20
	電気通信普及財団賞(第40回)の概要	
	(1) テレコム人文学・社会科学賞	
	(2) テレコムシステム技術賞	
	(3) テレコム学際研究賞	
	(4) テレコム人文学・社会科学学生賞	
	(5) テレコムシステム技術学生賞	
	(6) テレコム学際研究学生賞	
	創立40周年記念講演会・祝賀会/	
	第40回 電気通信普及財団賞贈呈式・2024年度助成金贈呈式	28
4.	4. これまでの活動実績	33
5.	5. 決算報告	35
	(1) 貸借対照表	
	(2) 正味財産増減計算書	
6.	6. 2025年度 役員、評議員及び審査委員名簿	37
	理事・監事・評議員・審査委員	

1. 理事長からのご挨拶

公益財団法人 電気通信普及財団 理事長 巻口 英司



日頃より、私ども電気通信普及財団の活動にご理解ご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

当財団は、1984年に電電公社(現在のNTT株式会社)からの寄付を母体とし郵政大臣の許可を受けて設立され、その後内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人に移行しました。

2024年度にはおかげさまで財団設立40周年の節目を迎えました。この間、情報通信分野の最新の研究活動に対して公募による助成援助及び表彰事業を推進し、累計で9,609件、約96億円の助成援助及び電気通信普及財団賞938件、約3億円の表彰・賞金贈呈を行ってまいりました。

また、40周年記念事業としては、研究調査助成における「A I時代のデジタル社会(技術・課題)」をテーマとした特別枠の募集、これまでの助成援助・表彰の実績をとりまとめた電子ブック形式のデジタル資料集の公開及び記念式典(講演会・祝賀会)の開催を行ったところです。

2024年度は、助成援助事業全体では前年度を3割程度上回る238件、金額としてはこれまで最高の3.3億円を採択しました。中でも上記特別枠の反響で研究調査助成の新規の申込件数が5割増となり、採択件数・金額とも4割増と全体を押し上げました。電気通信普及財団賞は、人文学・社会科学分野、技術分野及び学際研究分野の3分野で合計34件を採択、賞金総額は2,045万円となりました。

助成援助や財団賞の選考に当たりましては、審査委員、表彰専門部会委員、更に100名を超える予備審査員の皆様に多大なご尽力を賜りましたことに、改めて厚く御礼申し上げます。

情報通信は、急速で絶え間ない技術発展を踏まえ、社会経済の成長・効率化から、AI、 VR等を活用した環境、教育、医療等の社会的課題解決や新たな価値創造への寄与と、今 や社会・経済・文化発展の基盤とも言うべき存在となっています。

当財団といたしましては、公益財団法人としての責務を果たし、情報通信分野における第一線の研究活動において幅広い「礎」となれるよう、助成援助・表彰事業の推進を通じて、我が国の豊かで創造的な未来の実現、デジタル社会の発展に、今後一層貢献してまいりたいと考えております。引き続き皆様のご支援ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

2025年8月

2. 助成·援助活動

2-1 研究調查助成

(概要)

2024年度においては、通常の研究調査助成に加え、電気通信普及財団創立40周年記念事業として、「AI時代のデジタル社会(技術・課題)」をテーマとした研究調査助成を募集し、採択した。

研究調査助成全体では、新規申込件数が255件、申込額が4億9758万円となった。申込件数が前年度の5割増しとなり、申込額は1億9508万円上回った。このうち、116件、2億1167万円が採択され、過年度採択の複数年案件38件、4818万円を加え全体として154件、2億5984万円の助成を行った。

(1) 研究調査助成(通常枠) [援助期間] 2025年4月~2026年3月

(概要)

2024年度募集の研究調査助成(通常枠)の新規助成申込については、申込件数は123件、申込額は 2億4033万円であった。

審査委員会による審査を経て、52件、9495万円が助成案件として採択された。内訳は、人文学・社会科学分野では、12件、1639万円、技術分野では、28件、5912万円、両分野にわたる研究では、12件、1944万円となっている。

採択された調査研究のテーマは多岐にわたるが、次世代通信を支える要素技術やVR、IOT等の最 先端技術の提案や、情報通信を医療や教育といった社会的課題の解決に役立て、応用するための研究 など興味深い研究が数多く含まれている。

人文学・社会科学分野(通常枠)

〈敬称略〉

合計 12件 16,391 千円

所属・氏名	研究調査テーマ名	助成金額 (千円)
宮崎大学 医学部看護学科 教授 吉永 尚紀	社交不安症への認知療法を効率化する次世代型WEB治療プログラムの実証研究	1,723
駿河台大学 心理学部 教授 和智 妙子	捜査面接をオンラインで実施することは可能か?	1,910
滋賀大学 データサイエンス AI イノベーション 研究推進センター 講師 近藤 紀章	気象データと交通選好の統合によるスマートライドシェア システムの構築	1,000
信州大学 人文学部 准教授 佐藤 広英	ダークパターンによる意図しない個人情報提供の同意を引 き起こすユーザー特性の解明	980
早稲田大学 アジア太平洋研究科 准教授 瀬田 真	危機の時代における海底ケーブルガバナンス: 国際法の視点から	1,800
大妻女子大学 文学部・コミュニケーション文 化学科 准教授 李 美淑	デジタル時代におけるジャーナリズム文化の変容に関する 国際比較研究	890

所属・氏名	研究調査テーマ名	助成金額 (千円)
滋賀大学 データサイエンス研究科 博士後期課程1年 林 孝太郎	仮想現実世界における社会的ネットワークの形成と主観的 ウェルビーイングへの影響	1,110
東北大学 大学院情報科学研究科 特任助教(研究) 李 昕翮	AI文字おこしは地方議会コーパス構築にとって有益か?: 町村議会に対する実証分析	1,500
大阪公立大学大学院情報研究科 基幹情報学専攻 特任准教授 ヴァーゴ アンドリュー	ウェアラブルセンサーで取得した生理データのパーソナラ イズによる人の健康増進の促進	806
立命館大学 産業社会学部 准教授 世雄 呉	ソーシャルワーク実践におけるデジタル化の影響と新たな 実践論の構築に関する研究	1,254
東洋大学 社会学部二部社会学科 助教 松崎 良美	障害児の意志に寄り添う情報通信 "活用"—学びを支える 現場から問うリテラシー—	655
京都大学 東南アジア地域研究研究所 教授 岡本 正明	東南アジアにおけるティックトックが生み出す政治の危機 と可能性	2,763

技術分野 (通常枠)

〈敬称略〉

59,123 千円 合計 28件

所属・氏名	研究調査テーマ名	助成金額 (千円)
東京大学 大学院情報学環 特任講師 葛 杭麗	Overloaded MIMO環境におけるDeep Unfolding (深層展開) 手法を用いた信号検出の最適化	800
東北学院大学 工学部情報基盤工学科 准教授 深瀬 道晴	次世代情報通信における暗号セキュリティ解析ツールの高 速並列化に関する調査研究	2,600
東北大学 大学院工学研究科ロボティクス専攻 准教授 猪股 直生	フレキシブルメタサーフェスを用いた周波数可変テラヘルツ フィルタの開発	3,000
大阪大学 工学研究科 機械工学専攻 准教授 杉本 靖博	リザバーコンピューティングを用いた空圧人工筋群による 自律的運動生成	2,600
豊橋技術科学大学大学院工学研究科 電気・電子情報工学系 助教 小松 和暉	非線形ひずみや雑音を有効活用する新しい無線通信技術 の理論的開拓と実証	2,985
成蹊大学 理工学部 助教 騫 申	機械学習を活用した非信頼中継ネットワークの適応型物 理層セキュリティ設計	1,550
日本大学 工学部・情報工学科 教授 源田 浩一	Mixed Realityによる可視化とハンドトラッキングを用いた アドホックネットワーク管理方法	1,000
筑波大学 システム情報系 教授 面 和成	高度なサイバー攻撃に耐性を持つデジタルウォレットシステム ム	1,000
千葉大学大学院情報学 研究院准教授 今泉 祥子	可逆性を有するファイルサイズ不変な画像処理技術の開 発	2,197
北海道大学 電子科学研究所 准教授 渋川 敦史	次世代光通信に向けた超高速3Dビームステアリング技術 の開発	3,000

横浜国立大学 大学院工学研究院 別期的酸似ランダムを調とデュアルレーザが紡ぐブリルア 2,000 加的構造の創生部門 上教授 水野 洋輔 2,000 光イ関関域域反射計の新展側 2,001 大変 3,000 大変 2,001 大変 3,000 大変 2,001 大変 3,000 大変 3			
### 2008年語門	所属・氏名	研究調査テーマ名	
# 教授 LE DOAN HOANG 大阪大学 大学院基礎工学研究科・システム創成専攻	知的構造の創生部門		3,000
大学院基礎工学研究科・システム創成専攻		AI活用による光 /RF 混在型非地上系ネットワーク	2,081
# 複数授 中野 和也 域静脈認証システムの基礎研究 3,000	大学院基礎工学研究科・システム創成専攻		3,000
研究科 物質創成科学領域 助教 岡田 電馬 京都工芸繊維大学 繊維学系 准教授 永野 光 「主工業本業大学 先進工学部 知能メディア工学科 教授 宮田 高道 山口大学 創成科学研究科 助教 Du Xin 早稲田大学 基幹理工学部 情報通信学科 教授 宮田 高道 山口大学 自際情報学部 教授 本語 有質 素良先端科学技術大学院大学 先遊科学技術研究科 情報科学領域 助教 鍛治 秀伍 岡山大学 学術研究院 環境生命自然科学学域 教授 田野 哲 九州大学 大学院システム情報科学研究院 教授 全田 修 神戸大学 大学院システム情報科学研究院 教授 全田 修 神戸大学 大学院システム情報学研究科 助教 Finnerty Patrick 静岡県立大学 クローバル地域センター 特を投験 側川 仁 東京大学 生産技術研究所 助教 田谷 昭仁 東京大学大学院 情報理工学系研究科システム情報学事攻 助教 山岡 洗璞 SNS上に氾濫する不適切コンテンツへの注目度抑制手法 の確立 SNS上に氾濫する不適切コンテンツへの注目度抑制手法 の確立 1,666 SNS上に氾濫する不適切コンテンツへの注目度抑制手法 の確立 SNS上に氾濫する不適切コンテンツへの注目度抑制手法 の確立 1,666			1,360
# 本教授 永野 光 ボットの開発 だジョン言語モデルを用いた画像復元とゼロショット画像 1,500 認識の交互最適化 認識の交互最適化 1,200 認識の交互最適化 1,200 助教 Du Xin 電波遮蔽を考慮した機能性反射板の設計に関する研究 1,200 助教 Du Xin	研究科 物質創成科学領域		3,000
 先進工学部 知能メディア工学科 教授 宮田 高道 山口大学 創成科学研究科 助教 Du Xin 早福田大学 基幹理工学部 情報通信学科 教授 中里 秀則 中央大学 国際情報学部 教授 松崎 和賢 クラウド制御に対応するレガシーシステムのセキュリティ検 査手法の開発 奈良先端科学技術研究科 情報科学領域 助教 鍛治 秀伍 四山大学 学術研究院 環境生命自然科学学域 教授 田野 哲 九州大学 大学院システム情報科学研究院 教授 年田 修 カル州大学 大学院システム情報科学研究院 教授 年田 修 本来アンテナ空間信号処理技術と融合した無線センシング技術の調査研究 大規模グラフにおける最大独立集合の球解手法の開発と 情報通信への展開 静岡県立大学 グローバル地域センター特任教授 鴨川 仁 東京大学 大学院 情報理工学系研究科システム情報学専攻 助教 田谷 昭仁 東京大学大学院 情報理工学系研究科システム情報学専攻 助教 田谷 昭仁 東京大学大学院 情報理工学系研究科システム情報学専攻 助教 山岡 洗珠 富山県立大学 「有理工学系研究科システム情報学専攻 助教 山岡 洗珠 宮NS上に氾濫する不適切コンテンツへの注目度抑制手法 の確立 1,666 			2,940
助教 Du Xin 1,426 早稲田大学 基幹理工学部 情報通信学科 教授 中里 秀則 分散透過性のネットワークサポートに関する研究 1,426 中央大学 国際情報学部 教授 松崎 和賢 クラウド制御に対応するレガシーシステムのセキュリティ検 査手法の開発 1,400 查手法の開発 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 情報科学領域 助教 鍛治 秀伍 安全なサプライチェーンの確保に向けた非侵襲的な模造 半導体の検出技術の開拓 3,000 岡山大学 学術研究院 環境生命自然科学学域 教授 田野 哲 送受信アンテナ数以上の空間多重を行う過負荷 MIMO システムの研究 1,000 水授 年田 修 多素子アンテナ空間信号処理技術と融合した無線センシング技術の調査研究 1,600 神戸大学 大学院システム情報学研究科 助教 Finnerty Patrick 大規模グラフにおける最大独立集合の球解手法の開発と情報通信への展開 2,000 静岡県立大学 グローバル地域センター特任教授 鴨川 仁 源京大学 生産技術研究所 財務 田谷 昭仁 測位衛星搬送波解析による次世代型の早期津波予測技術の開発 3,000 東京大学 生産技術研究所 財務 田谷 昭仁 通信品質改善のために自ら思索し行動するWi-Fiアクセスポイント 音響センサネットワーク上の信号処理性能評価のための同期非同期ペアデータセット構築 2,900 富山県立大学院情報理工学系研究科システム情報学専攻 財務 山岡 洸瑛 SNS上に氾濫する不適切コンテンツへの注目度抑制手法の確立 1,666 富山県立大学情報・アデータム・特報を 5NS上に氾濫する不適切コンテンツへの注目度抑制手法の確立 1,666	先進工学部 知能メディア工学科		1,500
教授 中里 秀則 中央大学 国際情報学部 教授 松崎 和賢		電波遮蔽を考慮した機能性反射板の設計に関する研究	1,200
変良先端科学技術大学院大学 先端科学技術大学院大学 先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 情報科学領域 助教 鍛治 秀伍 岡山大学 学術研究院 環境生命自然科学学域 教授 田野 哲 九州大学 大学院システム情報科学研究院 教授 牟田 修 神戸大学 大学院システム情報学研究科 助教 Finnerty Patrick 静岡県立大学 グローバル地域センター 特任教授 鴨川 仁 東京大学 生産技術研究所 助教 田谷 昭仁 東京大学大学院 情報理工学系研究科システム情報学専攻 助教 山岡 洗瑛 富山県立大学 情報・現外・アデータセット構築 SNS上に氾濫する不適切コンテンツへの注目度抑制手法 の確立 3,000 2,000 2,318 3,000		分散透過性のネットワークサポートに関する研究	1,426
 先端科学技術研究科 情報科学領域 助教 鍛治 秀伍 岡山大学 学術研究院 環境生命自然科学学域 教授 田野 哲 九州大学 大学院システム情報科学研究院 教授 全田 修 参素子アンテナ空間信号処理技術と融合した無線センシ ング技術の調査研究 神戸大学 大学院システム情報学研究科 財教 Finnerty Patrick 静岡県立大学 グローバル地域センター 特任教授 鴨川 仁 東京大学 生産技術研究所 助教 田谷 昭仁 東京大学大学院 情報理工学系研究科システム情報学専攻 財教 山岡 洗瑛 富山県立大学 「開報 中央 大学 (14) (14) (14) (14) (14) (14) (14) (14)			1,400
学術研究院 環境生命自然科学学域 教授 田野 哲	先端科学技術研究科 情報科学領域		3,000
教授 牟田 修	学術研究院 環境生命自然科学学域		1,000
助教 Finnerty Patrick 情報通信への展開 静岡県立大学 グローバル地域センター 関位衛星搬送波解析による次世代型の早期津波予測技術 3,000 特任教授 鴨川 仁			1,600
特任教授 鴨川 仁の開発東京大学 生産技術研究所 助教 田谷 昭仁通信品質改善のために自ら思索し行動するWi-Fiアクセス ポイント東京大学大学院 情報理工学系研究科システム情報学専攻 助教 山岡 洸瑛音響センサネットワーク上の信号処理性能評価のための同 期非同期ペアデータセット構築富山県立大学 情報工学部・情報システム工学科SNS上に氾濫する不適切コンテンツへの注目度抑制手法 の確立			2,000
助教 田谷 昭仁ポイント東京大学大学院 情報理工学系研究科システム情報学専攻 助教 山岡 洸瑛音響センサネットワーク上の信号処理性能評価のための同 期非同期ペアデータセット構築2,900富山県立大学 情報工学部・情報システム工学科SNS上に氾濫する不適切コンテンツへの注目度抑制手法 の確立1,666			3,000
ム情報学専攻 期非同期ペアデータセット構築 助教 山岡 洸瑛			2,318
情報工学部・情報システム工学科の確立	ム情報学専攻		2,900
	情報工学部・情報システム工学科		1,666

合 計 12 件 19,436 千円

所属・氏名	研究調査テーマ名	助成金額 (千円)
福岡工業大学 情報工学部・情報通信工学科 教授 石田 智行	認知症予防を目的としたVR技術とIoTによる新しいコグニ サイズシステムの開発	1,200
金沢大学 理工研究域 電子情報通信学系 准教授 江村 恵太	安全なデータ利活用に資するプライバシー保護暗号プロト コルの構成難易度に関する研究	1,000
奈良国立大学機構 奈良女子大学 研究院 工学系 教授 吉田 哲也	褪色劣化した写真フィルムデータの構造を保存しながら修 復する画像フィルタの開発	2,440
横浜国立大学 工学研究院 教授 大塚 和弘	自閉スペクトラム症者のソーシャルスキル指導のための人 工社会知能の構築と応用	1,162
筑波大学 理工情報生命学術院システム情報 工学研究群 博士後期課程1年 名倉 卓弥	エコーチェンバーを抑制するための情報摂取システムの提 案とその有効性の検証	1,447
茨城大学 応用理工学野 助教 福村 真紀子	「サードプレイス」を形成する雑談 AIの可能性:情報学 と日本語教育学の視点から	1,700
愛知県立大学 情報科学部 准教授 ジメネス フェリックス	教育支援ロボットにおける発達障害児の心理状態伝達シス テムの開発	1,800
慶應義塾大学大学院 理工学研究科 博士後期課程 山村 浩穂	触覚フィードバックシステムを用いた拡張身体アバタの身体化に関する研究(延長)	1,107
九州大学 データ駆動イノベーション推進本部 特任助教 耿 学旺	XRを活用したシミュレーションにおける感情行動センシング技術の開発	2,200
北海道大学大学院 情報科学院情報科学専 攻情報理工学コース 博士課程1年 鈴木 湧登	比喩表現の可視化を通じた運動技術の学習支援手法に関する研究	2,365
岩手大学 人文社会科学部 准教授 立花 良	XR通信コミュニケーションにおける感情認知行動の定量 化	1,850
国際基督教大学 教養学部アーツサイエンス 学科 教授 石橋 圭介	社会ジレンマを緩和する情報通信・実社会インフラリソー ス最適化制御の研究	1,165

(2) 電気通信普及財団創立40周年記念事業 研究調査助成特別枠

[援助期間] 2025年4月~2026年3月

(概要)

電気通信普及財団創立40周年記念事業として、「AI時代のデジタル社会(技術・課題)」をテーマとした研究調査助成を募集した。申込件数、申込金額とも通常枠を上回り、申込件数は132件、申込額は2億5726万円であった。

審査委員会による審査を経て、64件、1億1672万円が助成案件として採択された。内訳は、人文学・ 社会科学分野では、12件、1559万円、技術分野では、30件、5902万円、両分野にわたる研究では、22件、 4211万円となっている。

採択された調査研究のテーマは多岐にわたるが、AI時代のデジタル社会を実現するAIや未来の通信技術に加え、それらがデジタル社会に及ぼす影響や課題など、幅広い先端的な研究テーマが数多く含まれている。

人文学・社会科学分野(40周年記念枠)

〈敬称略〉

合 計 12 件 15,589 千円

所属・氏名	研究調査テーマ名	助成金額 (千円)
大妻女子大学 社会情報学部社会生活情報学専攻 専任講師 佐藤 信吾	ソーシャルメディアと構成的外部の相互性に関する一考察	1,000
兵庫県立大学 環境人間学部 教授 竹内 和雄	インターネット上の偽・誤情報対策	1,000
国立情報学研究所 情報社会相関研究系 准教授 岡田 仁志	中央銀行デジタル通貨の設計思想にみる次世代通貨体制 の集権性と分権性	800
山口大学 教育・学生支援機構 教学マネジメント室 講師 岩野 摩耶	大規模言語モデルによる感性分析を用いた教育成果の測 定に関する研究	1,700
早稲田大学 法学学術院 教授 上野 達弘	生成 AI 時代における人間の声・肖像等の保護に関する国際比較と新たな立法提案	2,050
立命館大学 法学部 准教授 畑中 麻子	日欧デジタルパートナーシップにおける知的財産法制度の 挑戦	1,660
北海道科学大学 保健医療学部診療放射線学科 准教授 谷川原 綾子	大規模言語モデルの生成・活用に向けた放射線医療特化型日本語データセットの生成	1,600
群馬大学 情報学部 准教授 松宮 広和	AI規制の国家・地域間の非対称性と安全保障政策・産業 政策のあり方に関する国際研究	1,150
東北福祉大学 教育学部教育学科 准教授 上村 裕樹	保育の質向上のための安全管理と業務効率化に向けた AI の活用	1,500
佛教大学 社会学部公共政策学科 准教授 三重野 雄太郎	電子計算機使用詐欺罪をめぐる総合的研究	660
名古屋大学 大学院法学研究科/高等研究院 教授 林 秀弥	情報空間の秩序形成に向けたデジタル社会の再構築	1,025
東京都立大学 人文社会学部心理学教室 准教授 井上 和哉	生成 AI による心理学研究用顔画像データベースの作成	1,444

合計 30件 59,018 千円

		nl D 4 4=
所属・氏名	研究調査テーマ名	助成金額(千円)
富山大学学術研究部工学系 特命教授 張 潮	高速かつ非接触な水産物鮮度検査のAI基盤技術の開発	3,000
埼玉大学 工学部情報工学科 教授 小室 孝	生成AIによる現実空間と仮想空間の自然な融合	1,500
福知山公立大学 情報学部 准教授 衣川 昌宏	高信頼 AI エッジコンピューティングの基盤となる AI ハード ウェアセキュリティの開拓	3,000
長崎大学 大学院・総合生産科学研究科 (工学系) 助教 GUAN CHAI EU	Beyond 5G/6Gネットワークと非地上系通信を連携する RIS反射板の設計と実現	915
日本工業大学 先進工学部データサイエンス学科 准教授 伊藤 暢彦	セマンティック通信を用いたリアルタイム映像伝送の研究	1,796
早稲田大学 大学院情報生産システム研究科 教授 牧野 昭二	様々な音を認識できるコンピュータの「耳」を作るための 多チャネル音響信号処理の研究	2,990
苫小牧工業高等専門学校 創造工学科(情報科学・工学系) 准教授 杉本 大志	AIと群ロボットを用いた災害時の動的探索・救助プロトコルの開発	1,600
電気通信大学 大学院情報理工学研究科 情報学専攻 教授 清 雄一	大規模言語モデルの悪用に対する防御機構の開発	3,000
名古屋大学 大学院工学研究科 情報・通信 工学専攻 講師 路 姍	AIを活用した多光源 IoT 可視光通信システムの最適化と制御に関する研究	1,780
埼玉大学 理工学研究科 情報工学プログラム 准教授 菅野 円隆	時間遅延光システムを用いた物理深層学習による敵対的 生成ネットワークの実装	1,000
岡山県立大学 情報工学部・情報通信工学科 教授 滝本 裕則	マルチモーダル基盤モデルに基づく言葉による審美性評価 の高度化・暗黙知の表出化	1,362
東京大学生産技術研究所 3部菅野研究室 特任助教 温 依林	三次元人物姿勢推定ためのテスト時個人適応	2,780
三重大学 工学研究科 情報工学専攻 准教授 森本 尚之	機械学習を用いた時系列マルチモーダル起床動作予測 IoT システムの高精度化	1,400
早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部・電子物理システム学科 教授 史 又華	信頼できるAIハードウェア設計基盤技術	2,000
鹿児島工業高等専門学校 電気電子工学科 教授 井手 輝二	コグニティブ無線適用の電波環境マップ作成を深層学習に より高精度で行う研究	1,100
九州大学 大学院システム情報科学研究院情報 学部門情報科学専攻 准教授 Vargas Danilo Vasconcellos	AIセキュリティ向上のための教師なしロバストで適応的なAIシステムの開発	2,105
阿南工業高等専門学校 創造技術工学科・情報コース 教授 岡本 浩行	敵対的生成ネットワークを利用した偏光制御素子の構造 最適化手法の確立	1,900

		叶 代
所属・氏名	研究調査テーマ名	助成金額
横浜国立大学 工学研究院 教授 市毛 弘一	レーダ技術と機械学習の融合による「電波の見える化」と そのB5G/6G通信応用	3,000
宮崎大学 農学工学総合研究科 物質・情報 工学専攻 博士後期課程2年 Tunn Cho Lwin	情報通信技術とデジタルツインを融合したAI駆動型胎児 健康管理システム	1,955
筑波大学 システム情報系 准教授 鈴木 大三	AI技術によるアニメ制作支援:局所物体検出の研究と応用	2,000
埼玉大学 理工学研究科 教授 岩崎 慶	デジタルツイン向け3Dアセットの高精細レンダリング技術の開発	1,240
宮崎大学 工学部工学科電気電子システムプログラム 教授 武居 周	電子レンジの局所加温を実現に向けた機械学習に基づく 電磁界逆解析手法の研究	1,200
室蘭工業大学 システム理化学科 准教授 李 鶴	IoTにおけるマルチモーダル大規模言語モデル向け軽量 エッジ処理システムの研究開発	2,400
東京科学大学 環境・社会理工学院 融合理工学系 助教 宋 航	対称分散仮説検定と深層学習の融合によるマイクロ波乳が ん組織検出	1,000
東京科学大学 情報理工学院 助教 常 穹	エッジデバイスを用いたリアルタイム3D 空間の再構成	1,480
広島大学 半導体産業技術研究所 特任助教 XIA SIJIE	6Gシステム実現に向けた高速移動環境における高信頼・ 低遅延通信の研究開発	1,350
明治大学 理工学部 電気電子生命学科 准教授 中村 守里也	光ファイバ通信用非線形イコライザ応用のための光リザー バ拡張技術	3,000
大阪大学 大学院工学研究科 助教 久野 大介	画像伝送を目的とした品質保証型セマンティック通信に関する研究	3,000
横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授 孫 鶴鳴	FPGAを用いたトランスフォーマーの最適ハードウェア実装	2,100
名古屋工業大学 大学院工学研究科·工学専攻 助教 島 孔介	Transformer 深層学習モデルを用いた人間の動作における 潜在表現の獲得と別部位データの生成	2,065

人文学・社会科学、技術の両分野にわたる研究(40周年記念枠)

〈敬称略〉

合 計 22 件 42,110 千円

所属・氏名	研究調査テーマ名	助成金額 (千円)
東京都立大学 システムデザイン学部・情報科学科 教授 会田 雅樹	ダークウェブ等の秘匿されたユーザの活動の動向把握と防 犯・安全保障技術への社会応用	1,000
東京都立大学 システムデザイン学部 助教 福地 庸介	誤信念を自ら強化するウェブメディア探索の認知シミュレー ション	1,393
愛知学院大学 経営学部 准教授 油井 毅	動的データと機械学習が明らかにするアイデアの高評価に 寄与する要因	450

		助成金額
所属・氏名	研究調査テーマ名	(千円)
北見工業大学 工学部・情報通信系 准教授 プタシンスキ ミハウエドムンド	インターネット選挙におけるSNS上誤情報対策用のAI基盤の応用可能性に関する調査	1,840
中京大学 工学部 メディア工学科 講師 董 然	人形浄瑠璃のマルチモーダルAI学習データセットおよび 大規模モーションモデルの構築	1,820
筑波大学 システム情報系 准教授 津川 翔	カスケードグラフ学習による偽・誤情報の早期検出	2,050
静岡大学 工学部 准教授 一ノ瀬 元喜	AIエージェントと人の融合環境における協力的意思決定プロセスの探究	1,021
東京大学 情報学環 助教 Yang Chi-Lan	有意義な人間とAIのコミュニケーションを支える弱点を持つAIの設計と調査 (Investigating and Designing a Vulnerable AI for Supporting Meaningful Human-AI Communication)	2,740
愛媛大学 社会共創学部 教授 折戸 洋子	身体障がい者によるブレイン・マシン・インターフェース利 用の倫理的課題	2,960
北里大学メディカルセンター救急科 副部長 田村 智	非接触型バイタルサイン技術とVR/AR技術の融合による 救急映像伝送システムの開発	1,400
東京大学大学院 学際情報学府学際情報学専攻 博士1年 西田 直人	異言語間の対話における認知負荷を軽減する翻訳字幕提 示技術の開発	2,500
東京電機大学 理工学部·生命科学系 教授 武政 誠	食感ビッグデータに基づく「おいしさを説明できる食感 AI 分析法」開発	2,673
東北大学大学院 国際文化研究科准教授 佐藤 正弘	生成エージェントによるAI駆動型イノベーション手法の開発	1,900
早稲田大学 人間科学学術院 准教授 望月 俊男	学習者が対話型エージェントから自ら気兼ねなく学習評価 を得られる協調学習基盤の開発	2,450
鳥取大学 工学部電気情報系学科 准教授 東野 正幸	大規模言語モデルと知識グラフに基づくAIエージェント型 サイバーセキュリティ教育システムの開発	1,734
明治大学 情報コミュニケーション学部 専任准教授 後藤 晶	AIと人間の信頼のダイナミクス:ゲーム実験を用いた信頼 創造・毀損・回復過程の検討	1,749
福井工業大学 経営情報学部・経営情報学科 准教授 加藤 千枝	神経発達症の青少年のインターネット利用特性―エピソー ド感情認識による分析―	2,100
香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 特命講師 久保 栞	ドローン点群データを活用した建物被災度分類の基礎的 検討	900
愛媛大学 教育学部 教授 大西 義浩	AI 生成子どもモデルを用いた模擬授業シミュレーターの開発と教員養成への応用	2,400
山梨大学 大学院総合研究部 教授 豊浦 正広	取調室の言動の解析と可視化	2,850
沖縄工業高等専門学校 情報通信システム工学科 講師 宮城 桂	音響刺激が土壌微生物に与える影響の解明とその実用化	2,300
九州大学 大学院芸術工学研究院 助教 Loh Ping Yeap	IMUデータと機械学習を用いた歩行・行動解析手法の提案と検証	1,880

(3) 研究調査助成過年度(2022年度、2023年度)採択案件

[援助期間] 2025年4月~2026年3月

2022年度及び2023年度に採択された複数年案件38件、4818万円に対し助成を行った。

2024年度研究調査助成 過年度採択分

〈敬称略〉

合計 38件 48,177 千円

2023年度 人文学·社会科学分野

所属・氏名	研究調査テーマ名	助成金額 (千円)
大阪大学 大学院人間科学研究科 助教 木村 司	生体信号を用いた「誤解のない」 オンラインコミュニケーションシステムの開発	800
中央大学 国際情報学部 教授 小向 太郎	データポータビリティに関する研究	1,000
横浜商科大学 商学部観光マネジメント学科 准教授 渋瀬 雅彦	小売業におけるパーソナライゼーション・パラドクスの解 消要因に関する研究	1,000
東北大学 産学連携機構(兼)法学研究科 特任教授(研究) 戸次 一夫	曖昧に特定された発明に関する特許要件の在り方につい ての調査研究	1,000
北海道大学 大学院情報科学院 大学院生 (博士後期課程) 春日 遥	日欧比較を通じた、伴侶動物の分離不安を軽減する社会 的ロボットの検討	900

2023年度 技術分野

所属・氏名	研究調査テーマ名	助成金額 (千円)
長崎大学 情報データ科学部 教授 高田 英明	視覚の知覚メカニズムを積極的に活用したモジュール分散 協調型裸眼3Dシステムの開発	1,400
東北大学 学際科学フロンティア研究所 助教 唐 超	B5G通信に向けるグラフェン量子バリア新原理高感度テラヘルツ検出器の開発	1,500
筑波大学 図書館情報メディア系 准教授 藤澤 誠	混合モデルと多層浅水方程式による大規模ビジュアルシ ミュレーションシステムの開発	825
立命館大学 情報理工学部 教授 上山 憲昭	キャッシュを考慮した動画コンテンツの推薦技術	1,500
東京女子大学 現代教養学部数理科学科 教授 加藤 由花	データ駆動群衆シミュレーションに基づく移動ロボットの ためのモビリティ基盤	1,450
東京大学 生産技術研究所情報・エレクトロニクス系部門 特任助教 TRINH VIET PHUC	UAVを利用した自由空間量子鍵分配システム用ホログラフィック送受信機に関する研究	1,500

所属・氏名	研究調査テーマ名	助成金額 (千円)
中央大学 理工学部 電気電子情報通信工学科 助教 李 恒	6G・7G通信の非破壊検査応用とナノカーボン撮像素子の超解像高集積な回折限界打破	2,500
千葉大学 フロンティア医工学センター 准教授 齊藤 一幸	ミリ波帯用生体等価固体ファントムの開発	1,000
筑波大学 システム情報系 准教授 町田 文雄	UAV フォッグコンピューティングのディペンダビリティ評価 手法の研究	1,444
熊本高等専門学校 情報通信エレクトロニクス工学科 教授 本木 実	AIエッジコンピューティングにおけるニューロモルフィック 強化学習の研究	1,600
三重大学 大学院工学研究科情報工学専攻 准教授 成枝 秀介	パケットキャプチャによる複数無線LANチャネルのスループット同時推定の高精度化	1,500
東北工業大学 工学部情報通信工学科 講師 NGUYEN VAN DUC	3D点群リアルタイム伝送における視聴体験品質の評価及びモデリングに関する研究	825
早稲田大学 大学院情報生産システム研究科 教授 伍 軍	分散型注意のネットワーク向け知識グラフの全プロセスの きめ細かいプライバシー保護	920
東京大学情報理工学系研究科 特任助教 中里 仁	協調認知におけるセンシング情報を活用した未来予測向け 通信システムの研究	1,500
九州工業大学 大学院工学研究院電気電子工学研究系 教授 河野 英昭	映像 IoT カメラの省電力運用のためのニューラルコーデックの開発	1,000
東京工業大学 工学院 准教授 宮田 純子	ストリーミング品質制御も考慮した確率幾何学的手法によ るハンドオーバ制御手法の提案	1,500
岡山大学 学術研究院 環境生命自然科学学域 准教授 侯 亜飛	伝搬路を再構成可能な反射板を用いた複数異なる伝搬路 形成による無線端末測位技術の研究	1,000
九州工業大学大学院 工学研究院電気電子工学研究系 准教授 野林 大起	データの地産地消を促進する情報指向型データ滞留基盤 の提案と実証検証	3,000
法政大学 情報科学部 教授 高村 誠之	任意形状画像信号の符号化に関する基盤的研究とその点 群映像符号化への適用	745

2023年度 人文学・社会科学、技術の両分野にわたる研究

所属・氏名	研究調査テーマ名	助成金額 (千円)
静岡理工科大学 情報学部 コンピュータシステム学科 講師 山岸 祐己	方言衰退の可視化ーカテゴリカルデータ分析手法を用いて	1,000
福井大学 学術研究院医学系部門看護 学領域臨床看護学分野 教授 佐藤 大介	がん薬物療法を支えるAI機能を付与した遠隔看護アプリケーションの構築と評価	1,500
神戸大学 経営学研究科 准教授 分寺 杏介	ウェブ調査におけるパラデータを用いた心理尺度回答への 「つまずき」検出法の開発	2,049

所属・氏名	研究調査テーマ名	助成金額 (千円)
大阪大学大学院情報科学研究科 情報ネットワーク学専攻 博士後期課程2年 山口 隼平	協調作業の定性・定量分析を統合するIoTシステムの研究	1,370
電気通信大学 大学院情報理工学研究科 教授 細川 敬祐	市民参加型ネットワーク観測による短波通信環境のモニタ リング	650
帝京大学 理工学部情報電子工学科 講師 塩野目 剛亮	ゲーミフィケーションを用いたろう・難聴者向け字幕提示 特性の最適化に関する研究	1,000
九州大学 大学院芸術工学研究院 准教授 Ho Hsin-Ni	マルチモーダル皮膚感覚提示技術開発のための感覚統合 解析	1,481

2022年度 人文学·社会科学分野

所属・氏名	研究調査テーマ名	助成金額 (千円)
法政大学 経営学部 教授 大木 良子	パネルデータによるデジタルプラットフォーム市場の競争メ カニズム解明	880
日本大学 経済学部 助教 江上 弘幸	ビデオゲームがメンタルヘルスに与える影響の解明:自然 実験と機械学習を用いて	1,300
法政大学 社会学部 准教授 土橋 臣吾	デジタルメディア利用のライフヒストリー研究	516

2022年度 技術分野

所属・氏名	研究調査テーマ名	助成金額 (千円)
横滨国立大学大学院 理工学府 准教授 孫 鶴鳴	学習型静止画像圧縮の実用化に関する研究	1,000
群馬大学 総合情報メディアセンター 講師 小川 康一	運用管理者の視点と経験を活用する自動ラック監視システムの開発	1,150

2022年度 人文学・社会科学、技術の両分野にわたる研究

所属・氏名	研究調査テーマ名	助成金額 (千円)
筑波大学 図書館情報メディア系 助教 小野 永貴	中学・高校での探究学習指導を効率化する「プレゼンテーション指導 Al」の研究開発	990
九州大学 ユニス&椎木ソーシャル・ビジネス 研究センター 学術研究員 Abedin Nuren	SDGs#5.4 を実現に途上国ファミリライドシェアモデルについて調査研究	1,882

2-2 海外研究・特別講義開設援助

(1) 特別講義開設援助 [開講期間] 2024年4月~2025年3月

(概要)

2024年度募集の特別講義開設援助については、新規の申込は無く、2023年度、2022年度採択案件の継続分として、2件約122万円が2024年度の援助案件として採択された。

2024年度 特別講義開設援助

合計 2件 1,224 千円

大学名	特別講義名	援助金額 (千円)
筑波大学	情報システム特別講義A	600
愛知学院大学	先端経営講座(DXデザイン思考)	624

(2) 長期海外研究援助 [渡航開始期間] 2024年10月~2025年9月

(概要)

2024年度募集の長期海外研究援助については、8件、申込額約3213万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て5件、申込額1872万円が援助案件として採択された。

2024年度 長期海外研究援助

〈敬称略〉

合計 5件 18,720 千円

申込者	研究テーマ、受入れ機関等、滞在期間	援助金額 (千円)
京都大学 法学研究科 准教授 音無 知展	憲法上の情報プライバシー権における「適正な個人情報の取扱い」の具体的内容の解明 アメリカ合衆国 ミシガン大学 法科大学院 Mark D. West, 教授(前法科大学院長) 2025年08月~2026年08月	3,552
慶應義塾大学 法務研究科 准教授 坂下 陽輔	Society5.0を見据えた適正な刑事過失論の構築 ドイツ Albert-Ludwigs-Universität Freiburg, Institut fürStrafrecht und Strafprozessrecht, Abteilung 1 Professor Dr. Michael Pawlik 2025年04月~2026年03月	3,620

申込者	研究テーマ、受入れ機関等、滞在期間	援助金額 (千円)
立教大学 法学部 准教授 早川 雄一郎	デジタルプラットフォームによる不公正なデータ慣行の規制における競争と消費者保護の交錯 オーストラリア メルボルン大学・ロースクール Stacey Steele・Associate Professor 2024年10月~2025年09月	3,465
電気通信大学 大学院情報理工学研究科,情報・ネットワーク工学専攻助教(テニュアトラック) 李 傲寒	量子技術による無線システムの最適化およびプライバシー保護アメリカ合衆国 University of Houston・電気・コンピュータ工学科 Miao Pan・准教授 2025年03月~2025年09月	3,035
東京工業大学 工学院 准教授 宮田 純子	ヒューマンファクターを考慮した安全なスマートシティ実現に向けたネットワーク基盤の構築イギリス ラフバラー大学、交通安全研究センターアシュリーフィルトネス教授2025年04月~2026年03月	5,048

(3) 海外渡航旅費援助 [渡航期間] 2024年5月~2025年8月

(概要)

2024年度募集の海外渡航旅費援助については、申込が77件、申込額約1760万円の援助申込があり、 審査委員会による審査を経て、43件、約972万円が2024年度の援助案件として採択された。

2024年度 海外渡航旅費援助

合計 43件 9,727 千円

申込時期	援助件数	援助金額 (千円)
4月期	6	1,335
6月期	12	2,980
8月期	10	2,460
10月期	9	1,632
12月期	3	620
2月期	3	700

2-3 普及·利用促進活動助成援助

(1) シンポジウム・セミナー等開催援助 [実施期間] 2024年10月~2026年3月

(概要)

2024年度のシンポジウム・セミナー等開催援助については、学術分野と社会貢献分野の合計で、37件、約3411万円の援助申込があり、21件、約1885万円が採択された。

① シンポジウム・セミナー等開催援助(学術分野)

シンポジウム・セミナー等開催援助(学術分野)については、2024年度5月期及び11月期に募集を行い、30件、申込額約2820万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て、17件、約1592万円が2024年度の援助案件として採択された。

2024年度5月期 シンポジウム・セミナー等開催援助 学術分野

〈敬称略〉

合計 7件 6,616 千円

申込団体名・申込者	会議、シンポジウム・セミナー等名	援助金額 (千円)
ISSRE2024組織委員 実行委員長 町田文雄	The 35th IEEE International Symposium on Software Reliability Engineering	1,000
30th OptoElectronics and Communications Conference/ International Conference on Photonics in Switching and Computing 2025 運営委員会 運営委員長 星田剛司	30th OptoElectronics and Communications Conference/ International Conference on Photonics in Switching and Computing 2025 (OECC/PSC 2025)	1,000
ICAT-EGVE 2024 実行委員会 General Chair 矢野博明	ICAT-EGVE 2024	1,000
PRICAI 2024 実行委員会 統括委員長 伊藤孝行	21st The Pacific Rim International Conference on Artificial Intelligence	1,000
RFIT2025実行委員会 実行委員長 西川健二郎	2025 IEEE International Symposium on Radio Frequency Integration Technology	1,000
東京大学生産技術研究所ディペンダブル社会 情報プラットフォーム研究センター センター長・教授 松浦幹太	The 24th Workshop on the Economics of Information Security (WEIS2025)	616
MMM2025実行委員会 電気通信大学・教授 柳井啓司	マルチメディアのモデリングに関する国際会議 International Conference on Multimedia Modeling	1,000

2024年度11月期 シンポジウム・セミナー等開催援助 学術分野

〈敬称略〉

合計 10件 9,300 千円

申込団体名・申込者	会議、シンポジウム・セミナー等名	援助金額 (千円)
第48回情報理論とその応用シンポジウム (SITA2025) 実行委員会 実行委員長 小林学	第48回情報理論とその応用シンポジウム (SITA2025)	1,000
公益社団法人 応用物理学会(微小光学研究会) 微小光学研究会 代表 伊賀健一	第30回微小光学国際会議 (The 30th Microoptics Conference, MOC2025)	1,000
IEEE R10 HTC2025運営委員会 General Co-chair 相澤清晴	IEEE Region 10 Humanitarian Technology Conference 2025 (IEEE R10 HTC2025)	1,000
APSAR2025 実行委員会 京都大学 大学院工学研究科 教授 (APSAR2025 組織委員長) 須崎純一	Asia-Pacific Conference on Synthetic Aperture Radar (APSAR) 2025	1,000
一般社団法人電子情報通信学会 通信ソサイ エティ APCC 2025 General Chair 笠原正治	The 30th Asia-Pacific Conference on Communications	1,000
第10回IFIP WG5.15災害情報処理に関する国際会議 (ITDRR2025) 実行委員会 教授 畑山満則	第10回IFIP WG5.15災害情報処理に関する国際会議 (英名: The 10th IFIP WG5.15 Conference on Information Technology in Disaster Risk Reduction (ITDRR2025))	1,000
ICDCN2026組織委員会 組織委員会委員長 安本慶一	27th International Conference on Distributed Computing and Networking	1,000
BodyNets2025 国内組織委員会 共同組織委員長 田中宏和	BodyNets 2025	300
2025年アンテナ伝搬国際シンポジウム実行委員会 東北大学教授 陳 強	2025年アンテナ伝搬国際シンポジウム	1,000
2025年フォトニクス・電磁波工学研究に関するシンポジウム実行委員会 委員長 小林一哉	2025年フォトニクス・電磁波工学研究に関するシンポジウム	1,000

② シンポジウム・セミナー等開催援助(社会貢献分野)

シンポジウム・セミナー等開催援助(社会貢献分野)については、2024年度5月期及び11月期に募集を行い、7件、申込額約591万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て、4件、約294万円が2024年度の援助案件として採択された。

2024年度5月期 シンポジウム・セミナー等開催援助 社会貢献分野 〈敬称略〉

合計 2件 1,635 千円

申込団体名・申込者	会議、シンポジウム・セミナー等名	援助金額 (千円)
株式会社横須賀リサーチパーク 代表取締役専務 上之段功	YRPオープンイノベーションデー	635
公益財団法人 全日本科学技術協会 理事·事業統括部長 齋藤太郎	第32回地域を活かす科学技術政策研修会 in 仙台	1,000

2024年度11月期 シンポジウム・セミナー等開催援助 社会貢献分野 〈敬称略〉

合計 2件 1,300 千円

申込団体名・申込者	会議、シンポジウム・セミナー等名	援助金額 (千円)
特定非営利活動法人 報道実務家フォーラム 理事長 瀬川至朗	報道実務家フォーラム2025	750
日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 災害救援技術部門長 曽篠恭裕	ISCRAM 2025 企画セッション 「Pracademics in the International Red Cross and Red Crescent Movement」	550

(2) 学術研究出版助成 [出版時期] 2024年10月~2025年9月

(概要)

学術研究の成果を公表するための書籍の出版を助成する学術研究出版助成については、2024年度は10件、約1672万円の助成申込があり、審査委員会による審査を経て、5件約922万円が2024年度の助成案件として採択された。

2024年度 学術研究出版助成

〈敬称略〉

合計 5件 9,222 千円

申込者 所属・役職・氏名	単著/ 共著	書名	助成額 (千円)
国立国語研究所 研究系 助教 落合 哉人	単著	「打ちことば」の研究―モバイルメディアコミュニ ケーションから再考する日本語	2,000
慶應義塾大学 政策・メディア研究科 特任准教授 松尾 剛行	単著	サイバネティック・アバターの法律問題	1,228
立命館大学 法学部 教授 臼井 豊	単著	デジタル遺品の比較法的研究 (仮題)	2,000
日本学術振興会(早稲田大学、ハーバード大学) 教育・総合科学学術院(早稲田大学)、エドウィン・ 〇・ライシャワー日本研究所(ハーバード大学) 国際競争力強化研究員(日本学術振興会)、次 席研究員(早稲田大学)、客員研究員(ハーバー ド大学) 松本 章伸	単著	アメリカの情報戦略 — 一占領下東アジアでのトランスナショナルなラジオ制作	1,994
京都教育大学 教育学部 社会科学科 講師 比良 友佳理	単著	著作権と表現の自由	2,000

(3) 国際交流人材育成援助 [援助期間] 2025年4月~2026年3月

(概要)

2024年度募集の国際交流人材育成援助については、新規の申込は無く、2023年度、採択案件の継続分として、1件70万円が2024年度の援助案件として採択された。

2024年度 国際交流人材育成援助

〈敬称略〉

合計 1件 700 千円

申込者	事業名	援助金額 (千円)
国立大学法人 電気通信大学 国際社会実装センター 学長 田野 俊一	インドネシアにおける放射線モニタリング技術の普及・能 力開発	700

(4) ネット社会課題対応援助 [援助期間] 2025年4月~2026年3月

(概要)

2024年度募集のネット社会課題対応援助については、新規6件、継続6件、申込額約1621万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て、8件、約946万円が2024年度の援助案件として採択された。

2024年度 ネット社会課題対応援助

〈敬称略〉

合計 8件 9,457 千円

申込者	事業名	援助金額 (千円)
佛教大学 研究推進部学術支援課 学長 伊藤真宏	ネットいじめの実態とコロナ禍による新たな特徴	1,000
大谷大学 社会学部コミュニティデザイン学科 教授 武田和哉	デジタルデバイドの解消と健康増進を目的とした学生によるスマートフォン教室の運営・開催と地域交流事業の展開	500
仙台高等専門学校 総合工学科 教授 千葉慎二	広域に分布するため池群監視を中心とした地域環境計測 システムの開発	500
学校法人加計学園 岡山理科大学 教育学部初等教育学科 学長 平野博之	科学的根拠を基にした学習コンテンツの持続可能な運用 を実現する情報ネットワーク構築の研究	1,100
宇都宮大学 共同教育学部 助教 齋藤大地	知的障害児者の支援機器 (Assistive Technology) としての生成 AI の利用可能性の検討	1,037
名古屋大学 大学院人文学研究科 教授 梶原義実	博物館・美術館展示における3D モデル配信用 Web システムの開発	2,000
慶應義塾ミュージアム・コモンズ 機構長 松田隆美	デジタル・コモンズを活用した 「文化体験普及のためのリ テラシー学習プログラム」の設計および実践	2,000
国立大学法人 滋賀医科大学 医学部医学科 生命科学講座(物理学) 准教授 成瀬延康	ICTとハンズオンを併用したSDGs課題解決能力を有する 人材の育成法の開発	1,320

3. 表彰事業

電気通信普及財団賞(第40回)

(概要)

電気通信普及財団賞(第40回)については、127件の著作や論文が選考対象となり、表彰専門部会による審査を経て、最優秀賞・入賞19件、奨励賞・特例表彰15件、合計で34件が受賞となった。賞金総額は2045万円となった。

電気通信普及財団賞(第40回)の贈呈式が2025年3月28日に、帝国ホテルにおいて、ハイブリッド方式で実施された。

第40回 電気通信普及財団賞 受賞著作・論文

〈順不同、敬称略〉

※所属・役職は受賞時のもの。執筆時・投稿時の所属・役職を()内に示す。

(1) テレコム人文学・社会科学賞

(概要)

テレコム人文学・社会科学賞には、26件の応募があり、その中から、入賞1件、奨励賞2件が受賞となった。

[入賞]

「オープン技術のガバナンス戦略ー知識マネジメントの視点からのアプローチー」

(書籍発刊:有斐閣,2023年12月)

安本 雅典 横浜国立大学大学院環境情報研究院·学府 教授 同大学総合学術高等研究院 主任研究者

[奨励賞]

「知識コモンズとは何か:パブリックドメインからコミュニティ・ガバナンスへ」

(書籍発刊: 勁草書房, 2023年10月)

西川 開 筑波大学図書館情報メディア系 助教

「犯罪捜査における情報技術の利用とその規律」

(書籍発刊:慶應義塾大学出版会,2023年11月)

尾崎 愛美 筑波大学ビジネスサイエンス系 准教授

(2) テレコムシステム技術賞

(概要)

テレコムシステム技術賞には、31件の応募・推薦があり、その中から、入賞4件、奨励賞2件が受賞となった。

[入賞]

「160 Gbaud 超級デジタルコヒーレント通信用超高速ドライバ集積 InP変調器」

(電子情報通信学会,電子情報通信学会論文誌C,2024年6月)

 尾崎
 常祐
 NTT デバイスイノベーションセンタ
 主任研究員

 小木曽義弘
 NTT デバイスイノベーションセンタ
 特別研究員

 山崎
 裕史
 NTT 先端集積デバイス研究所
 特別研究員

橋詰 泰彰 NTTデバイスイノベーションセンタ 担当部長

長島 和哉 古河電気工業株式会社次世代フォトニクス事業創造プロジェクトチーム 主査

石川 光映 NTTデバイスイノベーションセンタ 担当部長 布谷 伸浩 NTTデバイスイノベーションセンタ 担当部長

[Receive Beamforming Designed for Massive Multi-user MIMO Detection via Gaussian Belief Propagation]

(電子情報通信学会, IEICE Transactions on Communications, 2023年9月)

土井隆暢NECアドバンストネットワーク研究所研究員式田潤NECアドバンストネットワーク研究所研究員白瀬大地NECアドバンストネットワーク研究所研究員

村岡 一志 NECアドバンストネットワーク研究所 研究マネージャー

石井 直人 NECアドバンストネットワーク研究所 リードリサーチエンジニア

高橋 拓海 大阪大学大学院工学研究科 助教

衣斐 信介 同志社大学理工学部 教授

[1.58 Tbps OAM Multiplexing Wireless Transmission with Wideband Butler Matrix for Sub-THz Band]

(IEEE, IEEE Journal on Selected Areas in Communications, 2024年6月)

 笹木
 裕文
 NTT未来ねっと研究所
 特別研究員

 八木
 康徳
 NTT未来ねっと研究所
 研究主任

 工藤
 理一
 NTT未来ねっと研究所
 主幹研究員

 李
 斗煥
 NTT未来ねっと研究所
 上席特別研究員

[Prosodic Features Control by Symbols as Input of Sequence-to-Sequence Acoustic Modeling for Neural TTS]

(電子情報通信学会, IEICE Transactions on Information and Systems, 2021年2月)

栗原 清 日本放送協会 放送総局 メディア開発企画センター

清山 信正 日本放送協会 放送技術研究所 スマートプロダクション研究部 上級研究員 熊野 正 日本放送協会 放送技術研究所 スマートプロダクション研究部 主任研究員

[奨励賞]

[Projection Mapping under Environmental Lighting by Replacing Room Lights with Heterogeneous Projectors]

(IEEE, IEEE Transactions on Visualization and Computer Graphics, 2024年5月)

竹内 正稀 大阪大学大学院基礎工学研究科 博士前期課程学生2年 楠山 弘基 大阪大学大学院基礎工学研究科 博士前期課程学生1年

岩井 大輔 大阪大学大学院基礎工学研究科 准教授 佐藤 宏介 大阪大学大学院基礎工学研究科 教授

[A 818-4094TOPS/W Capacitor-Reconfigured CIM Macro for Unified Acceleration of CNNs and Transformers]

(International Solid-State Circuits Conference (ISSCC 2024), 2024年2月)

吉岡 健太郎 慶應義塾大学理工学部 専任講師

(3) テレコム学際研究賞

テレコム学際研究賞には、31件の応募・推薦があり、その中から、入賞3件、奨励賞3件、特例表彰2件が受賞となった。

[人賞]

[VisPhoto: Photography for People with Visual Impairments via Post-Production of Omnidirectional Camera Imaging]

(The 25th International ACM SIGACCESS Conference on Computers and Accessibility (ASSETS 2023), 2023年10月)

平林 直樹 大阪府立大学大学院工学研究科電気・情報系専攻

岩村 雅一 大阪公立大学大学院情報学研究科基幹情報学専攻 准教授

程 征 大阪府立大学大学院工学研究科電気・情報系専攻

南谷 和範 大学入試センター研究開発部 教授

黄瀬 浩一 大阪公立大学大学院情報学研究科基幹情報学専攻 教授

[Internet Service Providers' and Individuals' Attitudes, Barriers, and Incentives to Secure IoT]

(32nd USENIX Security Symposium (USENIX Security 23), 2023年8月)

藤田 彬 国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所

サイバーセキュリティ研究室 主任研究員

Nissy Sombatruang 国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所

サイバーセキュリティ研究室 研究員

Tristan Caulfield University College London, Associate Professor

Ingolf Becker University College London, Lecturer

笠間 貴弘 国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所

サイバーセキュリティ研究室 副室長

中尾 康二 国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所

主管研究員

井上 大介 国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所

サイバーセキュリティ研究室 室長

[Decision uncertainty as a context for motor memory]

(Springer Nature, Nature Human Behaviour, 2024年6月)

小笠 希将 情報通信研究機構未来ICT研究所 脳情報通信融合研究センター 研究員 横井 惇 情報通信研究機構未来ICT研究所 脳情報通信融合研究センター 研究員 岡澤 剛起 Institute of Neuroscience, Chinese Academy of Sciences チームリーダー

西垣 守道 株式会社本田技術研究所 先進技術研究所 チーフエンジニア 平島 雅也 情報通信研究機構 未来ICT 研究所 脳情報通信融合研究センター

研究マネージャー

羽倉 信宏 情報通信研究機構 未来ICT研究所 脳情報通信融合研究センター 主任研究員

[奨励賞]

「AI採点システムが変える大学入試」

(情報処理学会,情報処理/小特集[AI採点システム],2023年5月号)

石岡 恒憲 独立行政法人大学入試センター研究開発部 部長/教授

[Analytically Tractable Models for Decision Making under Present Bias]

(The 38th AAAI Conference on Artificial Intelligence (AAAI-24), 2024年2月)

赤木 康紀 日本電信電話株式会社 人間情報研究所 研究員

丸茂 直貴 日本電信電話株式会社 コミュニケーション科学基礎研究所 研究員

倉島 健 日本電信電話株式会社 人間情報研究所 特別研究員

Lyric App Framework: A Web-based Framework for Developing Interactive Lyric-driven Musical Applications

(The ACM CHI Conference on Human Factors in Computing Systems (CHI 2023), 2023年4月)

加藤 淳 国立研究開発法人産業技術総合研究所 主任研究員 後藤 真孝 国立研究開発法人産業技術総合研究所 首席研究員

[特例表彰]

「拡散モデルーデータ生成技術の数理」

(書籍発刊:岩波書店,2023年2月)

岡野原 大輔 株式会社 Preferred Networks 代表取締役最高研究責任者

「AIの世界へようこそ:未来を変えるあなたへ」

(書籍発刊: Gakken, 2024年8月)

美馬 のゆり 公立はこだて未来大学システム情報科学部 教授

(4) テレコム人文学・社会科学学生賞

テレコム人文学・社会科学学生賞には、8件の応募があり、その中から、入賞2件、奨励賞2件が受賞となった。

[入賞]

[Introducing an "invisible enemy": A case study of knowledge construction regarding microplastics in Japanese Wikipedia]

(New Media & Society, 2023年1月)

FU Mengyuan 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻 博士課程 3 年生

楊 鯤昊 中央学院大学法学部 講師

藤垣 裕子 東京大学大学院総合文化研究科 教授

[Ambidextrous Product Development Management: Exploration and Exploitation in Iterative Innovation]

(PDMA & JPIM Research Forum 2023, 2023年9月)

山本 将也 筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院ビジネス科学研究群

経営学学位プログラム 博士後期課程2年

立本 博文 筑波大学ビジネスサイエンス系 教授

[奨励賞]

「身体を保護法益とする抽象的危険犯としての誹謗中傷等罪に関する試案」

(未発表の論文)

黒川 真輝 慶應義塾大学法学部法律学科4年

「携帯電話とインターネットの普及に関する実証研究 〜イノベーション普及モデルを用いた加速期・成熟期の特定と普及要因の検証〜」

(未発表の論文)

江口 修平 九州大学大学院経済学府経済システム専攻 修士課程1年

(5) テレコムシステム技術学生賞

テレコムシステム技術学生賞には、22件の応募があり、その中から、最優秀賞1件、入賞5件、奨励賞2件が受賞となった。

[最優秀賞]

A Miniaturized Magic-T Using Microstrip-to-Coplanar Strips Transition and its Application to a Reflection-Type Phase Shifter■ The Miniaturized Magic-T Using Microstrip-to-Coplanar Strips Transition and its Application to a Reflection-Type Phase Shifter

(IEEE, IEEE Transactions on Microwave Theory and Techniques, 2024年3月)

田村 成 横浜国立大学大学院理工学府数物 · 電子情報系理工学専攻

博士課程後期3年生

共著者 新井 宏之

[入賞]

[Causal and Relaxed-Distortionless Response Beamforming for Online Target Source Extraction]

(IEEE/ACM, IEEE/ACM Transactions on Audio, Speech, and Language Processing, 2023年11月)

升山 義紀 東京都立大学システムデザイン研究科情報科学域 博士課程後期3年 共著者 山岡 洸瑛、木下 裕磨、中嶋 大志、小野 順貴

[Boosting Spectral Efficiency With Data-Carrying Reference Signals on the Grassmann Manifold]

(IEEE, IEEE Transactions on Wireless Communications, 2024年3月)

遠藤 尚輝 横浜国立大学理工学府数物・電子情報系理工学専攻

電気電子ネットワーク分野 博士課程前期2年

共著者 飯盛 寛貴、Chandan Pradhan、Szabolcs Malomsoky、石川 直樹

[Bilinear Gaussian Belief Propagation for Massive MIMO Detection With Non-Orthogonal Pilots]

(IEEE, IEEE Transactions on Communications, 2024年2月)

伊藤 賢太 大阪大学大学院工学研究科 博士後期課程3年

共著者 高橋 拓海、衣斐 信介、三瓶 政一

[Base Station-Driven PAPR Reduction Method Utilizing Null Space for MIMO-OFDM Systems With Amplify-and-Forward Relaying]

(IEEE, IEEE Access, 2024年2月)

梯 明日翔 東京理科大学大学院創域理工学研究科電気電子情報工学専攻 博士前期課程2年

共著者 原 郁紀、樋口 健一

[A Formulation of the Trilemma in Proof of Work Blockchain]

(IEEE, IEEE Access, 2024年6月)

中井 大志 京都大学大学院情報学研究科 後期博士課程1回生 共著者 櫻井 晶、廣中 詩織、首藤 一幸

[奨励賞]

[Experience: Practical Challenges for Indoor AR Applications]

(The 30th Annual International Conference on Mobile Computing and Networking, 2024年11月)

山口 隼平 大阪大学大学院情報科学研究科 博士後期課程3年

共著者 Aditya Arun、藤原 拓也、作田 岬紀、波田 凌太朗、藤橋 卓也、渡辺 尚、 Dinesh Bharadia、猿渡 俊介

「絶縁型Φ2n級DC - DCコンバータの開発とその評価」

(電気学会, 電気学会論文誌 D, 2024年3月)

塩野 友也 千葉工業大学大学院工学研究科機械電子創成工学専攻 修士課程1年生 共著者 田村 知孝、仲野 陽、佐藤 宣夫

(6) テレコム学際研究学生賞

テレコム学際研究学生賞には、9件の応募・推薦があり、その中から、最優秀賞1件、入賞2件、奨励賞2件が受賞となった。

[最優秀賞]

[EmoBalloon - Conveying Emotional Arousal in Text Chats with Speech Balloons]

(Proceedings of the 2022 CHI Conference on Human Factors in Computing Systems, 2022年4月)

青木 俊樹 東京大学工学部システム創成学科4年

共著者 中條 麟太郎、松井 克文、崔 セミ、Ari Hautasaari

[入賞]

[asEars: Designing and Evaluating the User Experience of Wearable Assistive Devices for Single-Sided Deafness]

(Proceedings of the 2023 CHI Conference on Human Factors in Computing Systems, 2023年4月)

高木 健 東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻 博士課程3年

共著者 野崎 悦、金井 智美、Ari Hautasaari、樫尾 明憲、佐藤 大介、鴨頭 輝、浦中 司、 浦田 真次、小山 一、山岨 達也、川原 圭博

「リズム聴取で興奮・快感・内的時間を表すエージェントのもたらす共感性の検討」

(ヒューマンインタフェース学会, 若手研究者5特集論文,2023年11月)

石田 真子 関西大学大学院総合情報学研究科 博士前期課程2年

共著者 竹村 響、米澤 朋子

[奨励賞]

[PrISM-Tracker: A Framework for Multimodal Procedure Tracking Using Wearable Sensors and State Transition Information with User-Driven Handling of Errors and Uncertainty]

(ACM, Proceedings of the ACM on Interactive Mobile Wearable Ubiquitous Technology, 2022年12月)

荒川 陸 Carnegie Mellon University Ph.D. student

共著者 矢倉 大夢、Vimal Mollyn、Suzanne Nie、Emma Russell、Dustin P. Demeo、 Haarika A. Reddy、Alexander K. Maytin、Bryan T. Carroll、Jill Fain Lehman、 Mayank Goel

[LightSub: Unobtrusive Subtitles with Reduced Information and Decreased Eye Movement]

(MDPI, Multimodal Technologies and Interaction, 2024年6月)

西 優己 九州大学大学院システム情報科学府 修士課程2年

共著者 中村 優吾、福嶋 政期、荒川 豊

and the way

公益財団法人 電気通信普及財団 創立40周年 記念講演会/記念祝賀会

第40回電気通信普及財団賞贈呈式·2024年度助成金贈呈式

開催日 2025年3月28日(金) 場 所 帝国ホテル (東京都千代田区)

1 創立40周年記念講演会

11時30分~12時10分 「富士の間」(本館3階)

演題:「新たな価値の創造とグローバルサステナブル社会の実現-IOWN-」 日本電信電話株式会社 代表取締役副社長 副社長執行役員CTO

川添 雄彦 氏

2 創立40周年記念祝賀会

12時30分~ 「富士の間」(本館3階)

(1) 理事長挨拶

守 屋 学 理事長

(2) ご来賓挨拶 総務省 竹 内 芳 明 事務次官

日本電信電話株式会社

島 田 明 代表取締役社長

(3) 乾杯発声

廣 松 毅 審查委員長

(4) 懇談

3 第40回電気通信普及財団賞贈呈式·2024年度助成金贈呈式

10時00分~ 「桜の間」(本館4階)

(1) 理事長挨拶

守 屋 学 理事長

- (2) 第40回電気通信普及財団賞関係
 - ① 選考経過報告

・テレコム人文学・社会科学部門

廣松

毅 表彰専門部会座長

・テレコムシステム技術部門

浅 見

徹 表彰専門部会委員

・テレコム学際研究部門

浅 見

徹 表彰専門部会委員

- ② 表彰状贈呈
 - ・テレコム人文学・社会科学賞
 - ・テレコム人文学・社会科学学生賞
 - ・テレコムシステム技術賞
 - ・テレコムシステム技術学生賞
 - ・テレコム学際研究賞
 - ・テレコム学際研究学生賞
- ③ 2024年度助成援助関係
 - ・研究調査助成対象者全員の記念撮影

・審査概況報告

廣 松 毅 審查委員長

・代表者への目録贈呈

④ 財団賞受賞者によるショートプレゼン

テレコム学際研究賞 特例表彰

岡野原 大輔 氏

閉会

式典の模様 創立40周年記念式典



創立40周年記念講演会 日本電信電話株式会社 代表取締役副社長 副社長執行役員CTO 川添 雄彦 氏



電気通信普及財団 守屋 学 理事長 挨拶



総務省事務次官 竹内 芳明 氏 来賓挨拶



日本電信電話株式会社 代表取締役社長 島田 明 氏 来賓挨拶



廣松 毅 審査委員長 乾杯発声



会場の様子



会場の様子



会場の様子

贈呈式の模様

第40回電気通信普及財団賞贈呈式 2024年度助成金贈呈式



電気通信普及財団 守屋 学 理事長 挨拶



廣松 毅 審査委員長 選考経過報告



浅見 徹 表彰専門部会委員 選考経過報告



会場の様子



テレコム人文学・社会科学賞 入賞 安本 雅典 氏



テレコム人文学・社会科学賞 奨励賞 尾崎 愛美 氏



テレコムシステム技術賞 入賞 土井 隆暢 氏



テレコムシステム技術賞 奨励賞 竹内 正稀 氏



テレコム学際研究賞 入賞 藤田 彬 氏



テレコム学際研究賞 奨励賞 石岡 恒憲 氏



テレコム学際研究賞 特例表彰 美馬 のゆり 氏



テレコム人文学・社会科学学生賞 入賞 FU Mengyuan 氏



テレコムシステム技術学生賞 最優秀賞 田村 成 氏



テレコム学際研究学生賞 入賞 石田 真子 氏





2024年度研究調査助成対象者 集合写真





財団賞受賞者によるショートプレゼン テレコム学際研究賞 特例表彰 岡野原 大輔 氏

4. これまでの活動実績

区分	西暦	研究	調査助成		ジウム開催等 の援助	特別請	義開設援助	長期海	外研究援助	海外渡	航旅費援助
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	 金 額	件数	 金 額
昭和59年度	1984	29	66,600	-	_	-	_	_	_	-	-
昭和60年度	1985	59	121,740	11	40,500	3	8,700	-	_	23	9,550
昭和61年度	1986	77	143,761	18	56,268	6	21,370	-	_	32	12,050
昭和62年度	1987	79	107,600	24	49,900	8	29,690	-	_	30	12,400
昭和63年度	1988	68	95,428	9	22,500	13	43,020	2	7,632	44	16,135
平成元年度	1989	63	103,002	15	33,300	16	51,870	2	8,147	37	13,338
平成2年度	1990	69	101,929	14	31,700	17	49,482	4	13,718	75	28,340
平成3年度	1991	85	129,924	15	32,800	17	43,210	2	9,563	58	20,090
平成4年度	1992	96	140,500	23	41,404	13	36,740	4	14,358	138	45,540
平成5年度	1993	79	106,050	17	21,100	14	29,231	6	19,499	112	36,545
平成6年度	1994	105	120,500	26	33,300	13	26,920	6	24,211	191	63,493
平成7年度	1995	101	99,550	32	27,300	15	27,330	7	23,110	142	42,765
平成8年度	1996	109	102,810	26	20,600	13	28,720	7	22,280	173	46,240
平成9年度	1997	109	119,330	33	30,050	12	23,920	7	25,530	179	44,360
平成10年度	1998	102	111,440	35	32,575	14	27,120	6	20,440	194	48,840
平成11年度	1999	101	114,250	19	22,090	13	23,190	7	23,938	142	33,520
平成12年度	2000	92	107,589	19	18,680	15	23,935	6	20,310	189	43,680
平成13年度	2001	75	87,988	16	15,585	14	21,603	4	15,456	161	35,600
平成14年度	2002	68	74,150	21	14,600	14	20,562	3	11,592	110	23,370
平成15年度	2003	70	75,350	17	15,700	12	17,084	2	6,960	104	23,690
平成16年度	2004	69	75,380	15	12,488	6	8,251	3	8,960	102	24,040
平成17年度	2005	68	73,026	11	10,706	6	9,826	3	9,420	77	17,790
平成18年度	2006	67	72,594	9	6,700	5	7,883	3	10,350	77	16,680
平成19年度	2007	70	74,460	16	13,100	8	10,480	4	10,750	68	15,500
平成20年度	2008	76	68,147	8	7,539	6	6,642	3	10,771	77	17,060
平成21年度	2009	82	70,471	14	15,000	8	8,327	3	8,502	54	12,420
平成22年度	2010	83	74,852	9	10,000	6	7,296	1	2,634	45	10,410
平成23年度	2011	83	74,919	16	14,900	5	5,653	3	7,627	48	10,820
平成24年度	2012	78	67,928	14	13,900	1	1,626	2	5,918	54	12,910
平成25年度	2013	87	78,676	11	11,650	2	1,475	4	10,858	59	14,530
平成26年度	2014	85	77,390	12	13,600	2	1,284	1	2,456	58	14,455
平成27年度	2015	102	93,074	18	19,100	3	2,180	4	15,070	54	12,490
平成28年度	2016	148	142,496	13	14,200	6	4,609	1	3,258	48	11,316
平成29年度	2017	146	161,791	26	27,603	5	4,188	3	4,641	51	12,080
平成30年度	2018	117	163,838	18	17,460	14	11,588	4	10,918	35	8,341
令和元年度	2019	108	145,373	23	18,360	4	2,560	5	5,963	55	12,812
令和2年度	2020	82	129,830	14	12,700	4	2,870	0	0	8	995
令和3年度	2021	79	124,629	19	18,086	4	3,525	1	3,490	2	86
令和4年度	2022	94	142,082	19	17,900	4	3,825	2	7,069	19	4,334
令和5年度	2023	115	181,499	19	17,460	3	2,395	3	7,610	36	8,242
令和6年度	2024	154	259,844	21	18,851	2	1,224	5	18,720	43	9,727
累	計	3,629	4,481,790	715	871,255	346	661,404	133	431,729	3,204	846,584

注1. この他過去に福祉機器の寄贈、図書・文献の寄贈、ボランティア援助、電気通信政策研究援助等の助成・援助実績がある。(1,513件:22.3億円)

金額単位:(千円)

国際交流人材育成援助		ネット社会課題対応援助		学術研究出版助成		表彰		助成・	援助・表彰合計
件数		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	 金額
_	_	-	-	-	_	-	_	29	66,600
_	_	_	_	_	_	10	4,400	106	184,890
_	_	_	-	_	_	10	4,600	143	238,049
_	_	_	_	-	_	11	5,100	152	204,690
_	_	_	_	_	_	11	4,700	147	189,415
_	_	_	_	_	_	12	5,200	145	214,857
_	_	_	-	_	_	11	5,100	190	230,269
_	_	_	_	_	_	31	8,500	208	244,087
_	_	_	_	_	_	22	7,100	296	285,642
_	_	_	_	_	_	37	9,300	265	221,725
_	_	_	_	_	_	33	8,700	374	277,124
_	_	_	_	_	_	32	9,000	329	229,055
_	_	_	_	_	_	28	7,800	356	228,450
_	_	_	_	_	_	30	7,600	370	250,790
_	_	_	-	_	_	35	8,800	386	249,215
_	_	_	_	_	_	30	7,800	312	224,788
_	_	_	_	_	_	31	8,500	352	222,694
_	_	_	-	_	_	35	8,700	305	184,932
_	_	_	-	_	_	24	6,600	240	150,874
_	_	_	_	_	_	28	7,700	233	146,484
_	_	_	_	_	_	26	6,600	221	135,719
_	_	_	_	_	_	26	6,600	191	127,368
_	_	_	_	_	_	23	6,700	184	120,907
_	_	_	_	_	_	23	7,400	189	131,690
_	_	_	-	_	_	25	6,500	195	116,659
_	_	_	_	_	_	17	5,000	178	119,720
_	_	_	_	_	_	18	5,500	162	110,692
_	_	_	_	_	_	17	4,900	172	118,819
_	_	_	-	_	_	16	4,700	165	106,982
_	_	_	_	_	_	12	3,500	175	120,689
2	3,200	_	-	_	_	17	5,100	177	117,485
3	5,915	_	-	_	_	18	6,100	202	153,929
4	7,940	_	_	_	_	17	5,000	237	188,819
2	3,890	2	4,000	_	_	20	5,800	255	223,993
1	2,000	2	4,000	_	_	22	6,000	213	224,145
1	1,000	2	4,000	_	_	17	5,300	215	195,368
1	1,000	3	5,800	4	7,500	25	13,800	141	174,495
1	1,550	3	6,000	3	4,560	38	21,200	150	183,126
3	3,910	4	7,340	3	5,894	30	19,950	178	212,304
1	700	6	7,980	5	9,809	36	23,400	224	259,095
1	700	8	9,457	4	7,228	34	20,450	272	346,201
20	31,805	30	48,577	19	34,991	938	324,700	9,034	7,732,835

注2. 特別講義開催援助以外の平成26年度援助・助成項目は平成26年度に決定。

5. 決算報告

1. 貸借対照表 (3月31日現在)

(単位:千円)

科目	2024年度	2023年度	2022年度
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	476,801	400,162	376,354
未収金	8,452	8,541	9,848
その他	1,069	1,069	1,069
流動資産合計	486,322	409,772	387,271
基本財産	11,267,865	11,898,534	11,025,201
特定資産	601,214	572,717	553,012
その他固定資産	7,140	7,379	7,671
固定資産合計	11,876,219	12,478,630	11,585,884
資産合計	12,362,541	12,888,402	11,973,155
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債合計	270,547	196,406	174,722
2. 固定負債合計	45,846	51,358	35,196
負債合計	316,393	247,764	209,918
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産	8,514,870	8,777,174	8,173,855
(うち基本財産への充当額)	(7,959,502)	(8,316,815)	(7,793,658)
(うち特定資産への充当額)	(555,368)	(460,359)	(380,197)
2. 一般正味財産	3,531,278	3,863,464	3,589,382
(うち基本財産への充当額)	(3,308,363)	(3,581,719)	(3,231,543)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(60,999)	(137,619)
正味財産合計	12,046,148	12,640,637	11,763,237
負債及び正味財産合計	12,362,541	12,888,402	11,973,155

2. 正味財産増減計算書(4月1日~翌年3月31日)

(単位	:	千円)
-----	---	-----

科目	2024年度	2023年度	2022年度
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	489,725	392,714	297,862
(2) 経常費用	550,724	469,334	397,378
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 60,999	▲ 76,620	▲ 99,517
基本財産評価損益等計	▲ 271,186	350,702	▲ 132,564
当期経常増減額	▲ 332,185	274,082	2 32,080
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 332,185	274,082	2 32,080
一般正味財産期首残高	3,863,464	3,589,382	3,821,462
一般正味財産期末残高	3,531,278	3,863,464	3,589,382
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	▲ 262,304	603,319	▲ 372,878
指定正味財産期首残高	8,777,174	8,173,855	8,546,732
指定正味財産期末残高	8,514,870	8,777,174	8,173,855
Ⅲ 正味財産期末残高	12,046,148	12,640,637	11,763,237

6. 2025年度

役員、評議員及び審査委員名簿

理事・監事・評議員・審査委員

理事長(常勤)

巻口 英司

専務理事 (常勤)

瀬川 勝也

理事(非常勤)

家崎	暁	NTT株式会社 経営企画部門 経営企画担当 担当部長
酒井	善則	東京工業大学(現東京科学大学) 名誉教授
岩村	有広	一般社団法人日本経済団体連合会 常務理事
鈴木	裕之	株式会社みずほ銀行 情報通信・リテール第二部 次長
舟田	正之	立教大学 名誉教授
若杉	敬明	一般社団法人日本コーポレートガバナンス研究所 理事長 東京大学 名誉教授

監事 (非常勤)

藤塚 明 株式会社日本格付研究所 常勤監査役

評議員

上 健一	株式会社みずほ銀行 執行役員 情報通信・リテール第二部長
石井 義則	一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会 常務理事
服部 明利	NTT 株式会社 執行役員 経営企画部門長
下村 知叙	通信雷線線材協会 車務理事

審查委員会委員

[委員長]

髙畑 文雄 早稲田大学 名誉教授

[委 員]

依田 高典 京都大学 大学院経済学研究科 教授

國領 二郎 慶應義塾大学 名誉教授

中村 雅子 東京都市大学 メディア情報学部 教授

広瀬 啓吉 東京大学 名誉教授/国立情報学研究所 客員教授

廣瀬 通孝 東京工科大学 教授/東京大学 名誉教授

山中 直明 慶應義塾大学 新川崎先端研究教育連携スクエア 特任教授

電子情報通信学会 前会長

表彰専門部会委員

浅見 徹 株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 代表取締役社長

依田 高典 京都大学 大学院経済学研究科 教授

井手 秀樹 慶應義塾大学 名誉教授

植松 友彦 放送大学 東京渋谷学習センター 所長/特任教授

電子情報通信学会 会長

鈴木 秀美 国士館大学 法学部 特任教授

慶應義塾大学 名誉教授 大阪大学 名誉教授

髙畑 文雄 早稲田大学 名誉教授

中村 雅子 東京都市大学 メディア情報学部 教授

山中 直明 慶應義塾大学 新川崎先端研究教育連携スクエア 特任教授

電子情報通信学会 前会長

電気通信普及財団レポート2025

発 行 者 公益財団法人電気通信普及財団 〒105-0003 東京都港区西新橋二丁目4番2号 西新橋安田ユニオンビル2階 TEL 03-3580-3414 FAX 03-3580-3488

発行日2025年8月 URL https://www.taf.or.jp/ E-mail jigyoubu@taf.or.jp



〒105-0003 東京都港区西新橋二丁目4番2号 西新橋安田ユニオンビル2階 TEL 03-3580-3414 FAX 03-3580-3488

https://www.taf.or.jp/